



2026年4月14日

各位

会社名 株式会社 松屋  
 代表者 代表取締役社長執行役員 古屋 毅彦  
 (コード番号 8237 東京証券取引所プライム市場)  
 問合せ先 総務部コーポレートコミュニケーション課  
 課長 関 泰程  
 (TEL. 代表 03-3567-1211)

### 2026年2月期通期業績予想との差異に関するお知らせ

2025年10月9日に公表いたしました2026年2月期(2025年3月1日~2026年2月28日)の通期業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2026年2月期通期業績予想数値との差異(2025年3月1日~2026年2月28日)

##### (1) 連結

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	45,000	2,000	2,000	1,200	22円62銭
実績(B)	45,706	2,636	2,600	2,192	41円94銭
増減額(B-A)	706	636	600	992	—
増減率(%)	1.6	31.8	30.0	82.7	—
(ご参考)前期通期実績 (2025年2月期)	48,120	4,485	4,464	2,383	44円93銭

##### (2) 個別

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	37,000	3,000	400	7円53銭
実績(B)	37,735	3,393	1,285	24円55銭
増減額(B-A)	735	393	885	—
増減率(%)	2.0	13.1	221.3	—
(ご参考)前期通期実績 (2025年2月期)	40,071	4,606	2,951	55円55銭

## 2. 業績予想との差異の理由

百貨店業におきまして、免税売上高は前回想定において前年の急激な拡大の反動から大幅な減収を見込んでおりましたが、9月から11月にかけては前回の想定を上回って推移し、また、12月以降については中国政府による日本への渡航自粛勧告の影響があったものの、中国以外の訪日外国人による売上高が堅調に推移したことにより、下期を通して前回想定を上回りました。

また、百貨店業において販売費及び一般管理費を抑制したことや再開発関連費用引当金戻入額等の特別利益が前回想定を上回ったことに加え、個別においては貸倒引当金繰入額（特別損失）が前回想定から減少したこと等により、連結の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益および個別の売上高、経常利益、当期純利益がそれぞれ前回予想を上回りました。

以 上